

(お知らせ)

令和4年5月7日  
防衛省

1. 北朝鮮は、本日14時6分頃、朝鮮半島東岸付近から、1発の弾道ミサイルを東方向に発射しました。詳細については現在分析中ですが、発射されたのは、潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)と推定され、最高高度約50km程度で、約600km程度飛翔し、朝鮮半島東側の日本海に落下したものと推定されます。なお、当該ミサイルが落下したのは、我が国の排他的経済水域(EEZ)外と推定されます。
2. 防衛省から、政府内及び関係機関に対して、速やかに情報共有を行いました。現在までのところ、航空機や船舶からの被害報告等の情報は確認されていません。
3. 総理には、本件について直ちに報告を行い、
  - ① 情報収集・分析に全力を挙げ、国民に対して、迅速・的確な情報提供を行うこと
  - ② 航空機、船舶等の安全確認を徹底すること
  - ③ 不測の事態に備え、万全の態勢をとることの3点について指示がありました。
4. これを受け、防衛大臣は
  - ① 米国等と緊密に連携しつつ、情報収集・分析に全力を挙げること
  - ② 不測の事態の発生に備え、引き続き警戒監視に万全を期すことの2点について指示を出しました。その後、関係幹部会議を開催するなど、対応に万全を期しているところです。
5. これまでの弾道ミサイル等の度重なる発射も含め、一連の北朝鮮の行動は、我が国、地域及び国際社会の平和と安全を脅かすものです。また、ウクライナへの侵略が発生している中で、立て続けにミサイルを発射していることは許されません。さらに、このような弾

道ミサイル発射は、関連する安保理決議に違反するものであり、強く非難します。

6. 防衛省・自衛隊としては、引き続き、米国等とも緊密に連携し、大臣指示に基づき情報の収集・分析及び警戒監視に全力をあげるとともに、今後追加して公表すべき情報を入手した場合には、速やかに発表することとします。

